

● 三重県関係で国の登録有形文化財（建造物）の新登録の答申が行われるものの概要

| | | |
|------|-------------------------|----|
| 【名称】 | 小川家住宅主屋（おがわけじゅうたくしゅおく） | 1棟 |
| | 小川家住宅東蔵（おがわけじゅうたくひがしぐら） | 1棟 |
| | 小川家住宅西蔵（おがわけじゅうたくにしぐら） | 1棟 |

【所在地】名張市榊町

【年代】主屋：江戸末期／昭和30年頃・50年頃改修

東蔵：明治中期、西蔵：江戸末期

【建築面積】主屋：209㎡、東蔵：24㎡、西蔵：22㎡

小川家は、甲賀の出身で元和2年（1616年）に初瀬街道沿いの榊（さかき）町に移り、昭和23年まで醤油醸造業を行っていた商家です。主屋は、店舗兼住宅として建てられ、8畳の客間には、付書院や床の間が設けられています。玄関から続く通り土間の先には、腰海鼠壁（こしなまこかべ）で飾った2階建ての東蔵と西蔵が建てられ、醤油醸造の作業場跡に続いています。これらの建物は、醤油醸造業で繁栄した当時の様子を現在に良好に伝えています。



主屋東側外観



東蔵外観



西蔵外観

【名称】 福德公民館（旧明村立明小学校福德分教場）

〔ふくとくこうみんかん（きゅうあきらそんりつあきらしょうがっこうふくとく
ぶんきょうじょう）〕

1棟

【所在地】 亀山市関町福德

【年代】 昭和25年頃／昭和50年、平成20年改修

【建築面積】 99㎡

旧明村立明小学校福德分教場は、昭和25年ごろ亀山市西部の山村集落に建てられた学校建築です。教室1室と床の間をもつ和室に倉庫や物置・便所を附属させるのみの、学校としては最小規模の建物ですが、正面玄関を張り出し左右対称となる構造、下見板張（したみいたばり）で窓を大きく開く外観など、学校建築の意匠をよく留めています。現在は、福德公民館として、地元の人々に活用されています。



玄関付近



旧教室



廊下